

令和 4 年度
事業報告書

自令和 4 年 4 月 1 日

至令和 5 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 白銀会

八戸市大字白銀町字南ヶ丘 5 番地 3

目 次

社会福祉法人白銀会概要

各事業所別事業報告

法人本部

保育所型認定子ども園白銀保育園

幼保連携型認定子ども園さめ保育園

軽費老人ホーム（ケアハウス）八戸グリーンハイツ

八戸グリーンハイツ生活支援ハウス

八戸グリーンハイツデイサービスセンター

グループホーム八戸グリーンハイツ

グループホームひかる

八戸グリーンハイツ居宅介護支援事業所

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 白銀会
法人設立年月日	平成元年 9月29日
代表者名	理事長 荒川三千竹
法人所在地	青森県八戸市大字白銀町字南ヶ丘5番地の3
電話番号	0178-34-0127
FAX番号	0178-31-0570
メールアドレス	greenh@hi-net.ne.jp

2. 沿革

平成元年	9月29日	社会福祉法人白銀会 設立	
平成2年	4月1日	白銀保育所 開設	定員90名
平成4年	10月1日	軽費老人ホーム（ケアハウス）八戸グリーンハイツ開設	定員50名
平成8年	2月15日	八戸グリーンハイツ在宅介護支援センター開設 八戸グリーンハイツデイサービスセンター開設	定員34名
平成12年	4月1日	八戸グリーンハイツ居宅介護支援事業所開設	
平成13年	4月1日	八戸グリーンハイツ生活支援ハウス開設	定員10名
平成14年	4月22日	グループホーム八戸グリーンハイツ開設	定員9名
平成15年	3月1日	グループホームひかる開設	定員9名
平成19年	4月1日	さめ保育園開設	定員60名
平成21年	4月1日	白銀保育所	規模変更定員90名→60名
平成27年	4月1日	さめ保育園→幼保連携型認定こども園さめ保育園へ移行	規模変更定員60名→65名
平成31年	4月1日	白銀保育所→保育所型認定こども園白銀保育園へ移行	
平成31年	4月1日	地域交流スペース そよ風 開設	

3. 事業内容

○第一種社会福祉事業

軽費老人ホーム（ケアハウス）八戸グリーンハイツの設置経営

○第二種社会福祉事業

保育所型認定こども園

白銀保育園

幼保連携型認定こども園

さめ保育園

一時預かり事業

老人デイサービス事業

八戸グリーンハイツデイサービスセンター

生活支援ハウス事業

八戸グリーンハイツ生活支援ハウス

認知症対応型共同生活援助事業

グループホーム八戸グリーンハイツ

グループホームひかる

○公益を目的とする事業

居宅介護支援事業

八戸グリーンハイツ居宅介護支援事業所

八戸こども宅食おすそわけ便 年6回

白銀会こども宅食 年2回 計8回開催

令和4年度 そよ風 こども宅食事業協力事業者 《順不同、敬称略》

★階上キューピー株式会社

★株式会社 モリレイ

★ル・スゥブラン

★ヤッサイなんごう友の会

★JA八戸女性部

★八戸北ロータリークラブ

★はんこの水晶堂

★中勘商店

★第一生命

★カーブス八戸光星通り

★青森県トラック協会三八支部

★青森県農業協同組合中央会

★株式会社 味の海翁堂

★有限会社 興福丸漁業

★JA青森中央会

★みちのくコカ・コーラ

★生活協同組合コープあおもり

★青森県民生活協同組合

★青森県農業協同組合中央会

★株式会社ツーワン輸送

★日本マクドナルド

★ハウス食品

★ネスレ日本

★こども宅食応援団

★森乳業株式会社

★木徳神糧株式会社

★全国こども食堂支援センター むすびえ ★全国食支援活動協力会

★青森県社会福祉協議会

法人本部

- 理事会開催状況 理事定数 6 名 監事定数 2 名
- 第 1 回理事会 令和 4 年 5 月 30 日 出席 理事 5 名 監事 2 名
1. 令和 3 年度事業報告（案）について
 2. 令和 3 年度決算報告（案）について
 3. 令和 4 年度定時評議員会の招集事項（案）について
- 第 2 回理事会 令和 4 年 8 月 12 日 出席 理事 5 名 監事 2 名
1. 八戸グリーンハイツ（ケアハウス）の施設長の選任について
 2. 理事の候補者の選任について
 3. 令和 4 年度第 2 回評議員会の招集事項（案）について
 4. 次回理事会招集通知の省略について
- 第 3 回理事会 令和 4 年 8 月 30 日 出席 理事 6 名 監事 2 名
1. 理事長及び業務執行理事の選任について
- 第 4 回理事会 令和 4 年 9 月 28 日 出席 理事 6 名 監事 2 名
1. 業務執行状況について
 2. 予備費の流用及び第一次補正予算について
- 第 5 回理事会 令和 5 年 1 月 27 日 出席 理事 6 名 監事 2 名
1. 業務執行状況について
 2. 予備費の流用及び第二次補正予算について
- 第 6 回理事会 令和 5 年 3 月 24 日 出席 理事 6 名 監事 2 名
1. 業務執行状況について
 2. 第三次補正予算について
 3. 人事について
 4. 監査報告について
 5. 諸規定の変更について
 6. 令和 5 年度事業計画及び収支予算について

評議員会の開催状況

- 第 1 回定時評議員会 令和 4 年 6 月 27 日 評議員定数 7 名 出席評議員 7 名
（感染予防の為書面決議とした）
1. 令和 3 年度事業報告
 2. 令和 3 年度決算（計算書類及び財産目録）の承認について
 3. 評議員の選任について
- 第 2 回定時評議員会 令和 4 年 8 月 27 日 評議員定数 7 名 出席評議員 7 名
1. 理事の選任について

事業報告の附属明細書

1. 事業報告に関する附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和4年度 白銀保育園 事業報告目次

- 1 園児の入園状況(月初めの状況)
- 2 延長保育利用状況
- 3 地域交流(保育園体験)参加人数
- 4 一時保育利用人数
- 5 休日保育利用人数
- 6 ボランティア・実習生受け入れ状況
- 7 職員会議状況
- 8 職員研修状況
- 9 安全指導状況
- 10 避難訓練状況
- 11 地域との交流事業状況
- 12 世代間交流事業状況
- 13 食育状況
- 14 自己評価
- 15 今年度を振り返って

1. 園児の入園状況(月初めの状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
0歳児	3	3	3	4	4	6	6	6	6	6	6	6	59
1歳児	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	57
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
3歳児	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	111
4歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
5歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
計	38	38	38	39	39	41	41	41	41	41	41	41	479

2. 延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用園児数	17	24	36	31	26	35	28	30	28	27	23	31	336

3. 地域交流(保育所体験)参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数							2		2				4

4. 一時保育利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

5. 休日保育利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用園児数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

6. ボランティア・実習生受け入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア 実習生													0

7. 職員会議状況

定例会議	年24回
ケース会議(園児状況)	年24回
給食会議	年24回

8. 職員研修状況

外部研修	施設長	3人
	主任保育士	6人
	保育士	10人
	看護師	1人
	給食(調理員)	5人
内部研修		45人

9. 安全指導状況

交通安全指導	年7回
--------	-----

10. 避難訓練状況

避難訓練	年12回
不審者対応訓練	年2回
総合訓練	年2回

11. 地域との交流事業報告

月 日	内 容
10月20日	ちびっこ防災広場

12. 世代間交流事業報告

3月24日	お別れ会	年長児が八戸グリーンハイツの利用者から入学のプレゼントを貰い、お返しに小物入れを渡した。
-------	------	--

14.食育状況報告

	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	クッキング
4月	畑作りを始める。	畑作りを始める。	畑作りを始める。		
5月	野菜の苗を植えた ラデッシュの種を植えた。 バケツに種を植え、米作りに挑戦し	野菜の苗を植えた ラデッシュの種を植えた。 バケツに種を植え、米作りに挑戦し	野菜の苗を植えた。 ラデッシュの種を植えた。	ラデッシュの種を植えた。	ちゅうりっぷ組以上児が ハム・チーズサンドを作った。
6月	ラデッシュを収穫して食べた。 かいわれ大根を栽培し、家庭に持ち帰って親子で収穫を楽しんだ。	ラデッシュを収穫して食べた。 かいわれ大根を栽培し、家庭に持ち帰って親子で収穫を楽しんだ。	ラデッシュを収穫して食べた。 かいわれ大根を栽培し、家庭に持ち帰って親子で収穫を楽しんだ。	ラデッシュを収穫して食べた。 かいわれ大根を栽培し、家庭に持ち帰って親子で収穫を楽しんだ。	ちゅうりっぷ組以上児が プリンアラモードを作った。
7月	夏野菜を収穫して食べた。	夏野菜を収穫して食べた。	夏野菜を収穫して食べた。	夏野菜を収穫して食べた。	ちゅうりっぷ組以上児が マリトッツォを作った。
8月	夏野菜を収穫して食べた。 流しそうめんを体験した。	夏野菜を収穫して食べた。 流しそうめんを体験した。	夏野菜を収穫して食べた。 流しそうめんを体験した。	夏野菜を収穫して食べた。	ちゅうりっぷ組以上児が クラッシュゼリーを作った。
9月	じゃがいもを収穫した。	じゃがいもを収穫した。			ちゅうりっぷ組以上児が ホットドックを作った。
10月	さつまいもの収穫。 収穫したさつまいもを使用してクッキングをした。 稲刈りをして米を収穫した。	さつまいもの収穫。 収穫したさつまいもを使用してクッキングをした。 稲刈りをして米を収穫した。	収穫したさつまいもを使用してクッキングをした	収穫したさつまいもを使用してクッキングをした	ちゅうりっぷ組以上児が さつまいもの茶巾を作った。
11月					ちゅうりっぷ組以上児が デコレーションパンケーキを作った。
12月	もちつきを体験した。	もちつきを体験した。	もちつきを体験した。	もちつきを体験した。	
1月	七草や鏡開きを体験し、味わった。	七草や鏡開きを体験し、味わった。	七草や鏡開きを体験し、味わった。	七草や鏡開きを体験し、味わった。	ちゅうりっぷ組以上児が ピザトーストを作った。
2月	節分に恵方巻を食べた。	節分に恵方巻を食べた。	節分に恵方巻を食べた。	節分に恵方巻を食べた。	ちゅうりっぷ組以上児が じゃがいもガレットを作った。
3月	桃の節句をお祝いし、味わった。	桃の節句をお祝いし、味わった。	桃の節句をお祝いし、味わった。	桃の節句をお祝いし、味わった。	ちゅうりっぷ組以上児が フルーツサンドを作った。

給食の献立紹介・給食展示(離乳食・幼児食)・食育だより等掲示した。

14. 自己評価

新型コロナウイルス対策として、例年より早く取り組むようにしたが、それでも感染症の発生に伴って、製作活動や行事の準備、練習が計画通りには進まず、もっと早く取りかかるべきだった。

子ども達との関わりは、ゆとりをもって丁寧に接し、一人ひとりの発達に合った援助に努めた。支援を要する子の対応も、職員で話し合い、いろいろな意見を聞きながら、園全体で保育にあたる事ができたので良かった。

不適切保育がニュースに取り上げられることが多く、園内研修や会議等でも話し合い、一人ひとりが今まで以上に気を付けて保育していた。声掛けの部分で、「早く。待ってて。だめ。」等禁止したり、急かす言葉を使ってしまうことがあるので、気を付けていきたい。

15. 令和4年度を振り返って

新型コロナウイルス感染症等で、行事への取り組み、進め方、子どもとの関わり方、保護者との連携や理解と様々な方面への気配りがある中の保育だったが、子ども達の健康管理から消毒など感染症対策に皆で協力して行う事ができた。また、感染者の発生時の対応の仕方も皆で共有し、市役所への報告や保護者への連絡など素早く対応できた。今後、5類の感染症になることで対応の仕方も変わるが、職員全員で共有し、しっかりと対応しながら、消毒作業や健康管理は引き続きしっかりと行っていきたい。また、新型コロナウイルス感染症により、一時保育や地域支援を制限することもあったが、今後は積極的に受け入れていきたい。

園庭の遊具が老朽化し、保護者からの要望も出ているので、新しい遊具の設置を検討したい。

令和4年度 認定こども園さめ保育園 事業報告書 目次

1、園児の入園状況	1
2、延長保育利用状況	1
3、休日保育利用状況	1
4、一時保育利用状況	1
5、地域支援(保育園体験)利用状況	2
6、地域交流(世代間・異年齢児交流)参加状況	2
7、避難訓練状況	2
8、安全指導状況	2
9、職員会議状況	2
10、職員研修状況	2
11、ボランティア・実習生受け入れについて	3
12、地域との交流状況	3
13、職員状況	3
14、苦情受付について	3
15、アンケート結果より	3
16、自己評価について	4
17、施設関係者評価について	4
18、振り返って	4

1. 園児の入園状況(月初めの状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
0歳児	8	6	6	6	7	7	8	8	8	8	8	8	88
1歳児	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95
2歳児	7	7	7	7	6	5	5	4	4	4	4	4	64
満3歳児	0	0	0	0	1	2	2	3	3	3	3	3	20
3歳児(1号)	3	3	3	4	4	4	3	3	2	2	2	2	35
3歳児	10	10	10	9	9	9	10	10	11	11	11	11	121
4歳児(1号)	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51
4歳児	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105
5歳児(1号)	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
5歳児	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	147
計	61	60	60	60	61	61	62	62	62	62	62	62	735

2. 延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短時間認定利用数	6	17	13	12	26	32	37	29	12	16	7	21	228
18:00~18:30 利用園児数	7	17	11	8	3	12	3	4	12	8	8	9	102
18:30以降 利用園児数	3	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	9

3. 休日保育利用状況(自主事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在園児	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	7
計	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	7

4. 余裕活用型一時保育利用状況(自主事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
幼児	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	5

5. 地域支援(保育園体験)利用状況 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止(4・7・8・12月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼児	0	1	3	0	0	2	3	1	0	2	3	1	16
保護者	0	1	3	0	0	2	3	1	0	2	4	1	17
計	0	2	6	0	0	4	6	2	0	4	7	2	33

6. 地域交流(世代間・異年齢児交流)参加状況 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
高齢者													0
小学生等													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7. 避難訓練状況

避難訓練	年12回
不審者対応訓練	年2回
総合訓練	年2回

8. 安全指導状況

安全衛生指導	年4回
--------	-----

9. 職員会議状況

定例会議	32
ケース会議(園児状況)	28
給食会議	24
事故発生防止委員会議	4

10. 職員研修状況 (人)

外部研修 (内キャリアパス研修)	園長	5
	教頭・主幹保育教諭	9
	保育教諭	20
	補助員	16
	給食(調理員)	5
内部研修	園内研修	47

11. ボランティア・実習生受け入れについて

※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

12. 地域との交流状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止によりほとんど中止

月 日	行 事
12月14日	八戸高等支援学校交流会

13. 職員状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
教頭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
主幹保育教諭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保育教諭	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	106
短時間保育教諭	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
子育て支援員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
用務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
調理員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
短時間調理員	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	30
計	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	20	20	244

14. 苦情受付について

一斉メール配信未登録保護者からの苦情1件

一斉メール配信未登録の家庭には緊急の場合のみ電話連絡をすることにし、緊急以外は玄関掲示板に張り出し見ていただくようにしていたが、見落とししたので、緊急にかかわらず電話連絡が欲しいとのことであった。一斉メール配信未登録保護者にはその都度電話連絡を差し上げ、勤務等によりつながらない場合は書面配布で対応した。コロナウイルス感染症も落ち着いてきたが、各家庭に応じた連絡の対応を配慮していかなければならない。

15. アンケート結果より

アンケート回収は91%の回答を得た。

今年度も継続的なコロナ禍の中における対策を運動会や発表会では人数制限やクラス別に時間差を設けての開催となった。感染症対策がしっかりとられていて安心して参加することができたという言葉が多く寄せられた。また子供の体調や様子などを知らせてくれるので助かっていると満足度の高いコメントが得られている反面、保育園に要望意見を言いにくいと感じている保護者もいるということが、アンケート結果で見えてきた。保護者のご意見ご提案をもとに次年度に活かせるよう検討し、一人ひとり丁寧に対応し連携を図っていくことが今後の課題だと感じる。

16. 自己評価について

保育の計画性では園の教育理念や教育方針等の理解に努め指導計画を作成し評価と反省を行い次年度へつなげていけるように話し合う機会を持つようにした。認定こども園として、地域の子育て支援を行う役割を理解し、教育・保育・子育て支援に努めた。職員は保育者としての専門性を高めるためにオンライン研修を通し、専門知識を学び、研修で学んだことを園内研修という形で他の職員も共有することができた。今年度もコロナウィルス感染症拡大防止のため、行事の縮小、地域行事の中止、小学校や祖父母との交流が行えない状況の中、職員が意見を出し合い園行事をが楽しい場となるよう努めた。来年度も園児と保護者とのコミュニケーションを深め、心に寄り添う保育を心掛け、地域の子育て支援にも積極的に取り組んでいきたい。

17. 施設関係者評価について

継続的なコロナ禍においても、園の教育保育目標のもと適切な園運営が行われ、子どもの健康安全な保育について意識を高め、感染防止に努めながら行事、日々の保育が行われているという評価をいただいた。今後は感染症等の状況に応じ、園内外の行事を見直していきたい。職員一人一人が自己評価や研修を通し、自分自身の振り返りと保育理念や自分の保育に自信をもって対応していけるよう定期的に話し合う機会を持ち、教育保育の向上を図っていきたい。

18. 振り返って

新型コロナウイルス感染症の影響で一部休園が7回あり、参観日や発表会も延期となるなど、今年度も園活動に影響があったが、保護者の理解・協力をいただき、無事終える事ができた。園内をはじめ玩具の消毒、空気を循環させるための送風機の配備乳児室の空気清浄機の交換、児童トイレのエアコン設置等、感染症対策を徹底し、子どもたちが安全安心に過ごせるよう取り組んできた。園児職員とも健康管理には気を付けていたが、コロナウィルスやインフルエンザに多数罹患した。今後コロナウィルスの扱いも変わり地域行事への参加、交流も増えてくることと思われる。健康安全な保育に留意しながら、子供の気持ちに寄り添えるゆとりのある保育を心掛けていきたい。

八 戸 グ リ ー ン ハ イ ツ

〈 ケ ア ハ ウ ス 〉

令和4年度

事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人 白 銀 会

令和4年度 ケアハウス 事業報告書目次

1. 令和4年度事業報告書
2. 年間の行事・ケアハウスの特色（反省・コメント）
3. 実施事業
4. 健康管理・健康維持について
5. 安全指導計画について
6. 給食（食事）に関して
7. 職員研修計画について
8. 避難訓練について
9. 職員内部・外部研修
10. 利用者状況
 - （1） 年齢別
 - （2） 介護度別
 - （3） 退所者状況

令和 4 年度 事業報告書

実施月日	事業内容	適 用
4 月 1 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。お薬情報の提出について
14 日	床屋さん訪問	本人希望により、髪を切ったり、顔毛を剃ってもらう
19 日	施設大掃除	施設内の窓拭きや、壁、床の清掃をする
24 日	食の祭典	井ぶりの日(三色井)を召し上がられる
28 日	避難訓練	火災を想定して行う
	喫茶店	コロナ感染予防の為活動中止
	ゲームレク	〃
毎 日	体操・脳トレク	〃
各週 土・日	映画鑑賞	〃
毎週土曜日	手芸クラブ	〃
毎週日曜日	歌っこクラブ	〃
5 月 3 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。健康管理について(体重測定)
6 日	母の日	サクラ風呂
7 日	母の日	母の日御膳、手作りおやつ(へっちょこだんご)で食を楽しむ。プレゼント(花鉢)を贈
25 日	食の祭典	井ぶりの日(カツ井)を召し上がられる
26 日	避難訓練	地震を想定して行う
6 月 2 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。新しい入居者の紹介。食中毒・水分補給について
9 日	床屋さん訪問	本人希望により、髪を切ったり、顔毛を剃ってもらう
17 日	父の日&食の祭典	父の日に感謝を伝える。父の日御膳で食を楽しむ。プレゼントを贈る。
16 日	総合避難訓練	火災を想定して行う
27 日	食の祭典	井ぶりの日(天井)を召し上がられる
7 月 2 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。熱中症について(水分補給をしていくよう促す)
7 日	七夕	折り紙で飾りの製作をしたり、短冊に願い事を書く
12 日	避難訓練	火災を想定して行う
19 日	施設大掃除	施設内の窓拭きや、壁、床の清掃をする
27 日	食の祭典	井ぶりの日(うな井)を召し上がられる
8 月 2 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。熱中症や食中毒について
9 日	コロナワクチン4回目接種	医療機関関係者が立会いのもと、施設内にて接種を行う
10 日	床屋さん訪問	本人希望により、髪を切ったり、顔毛を剃ってもらう
13 日	お盆(迎え火)	玄関前で迎え火をたく
16 日	お盆(送り火)	お盆最後の送り火をたく
26 日	避難訓練	火災を想定して行う
30 日	食の祭典	井ぶりの日(三色井)を召し上がられる
9 月 1 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。熱中症について
21 日	敬老会	米寿・90歳以上の方の紹介し、プレゼントを渡す。敬老の日御膳を召し上がる
13 日	避難訓練	夜間を想定して行う
28 日	食の祭典	井ぶりの日(ねぎトロ井)を召し上がられる
10 月 1 日	茶のみ会	今月の行事予定をお知らせする。新しい入居者の紹介。インフルエンザ予防接種
13 日	床屋さん訪問	本人希望により、髪を切ったり、顔毛を剃ってもらう
17 日	総合避難訓練	火災を想定して行う
25 日	施設大掃除	施設内の窓拭きや、壁、床の清掃をする
27 日	食の祭典	井ぶりの日(焼き鳥井)を召し上がられる
30 日	食の祭典	パン祭り(好きなパンを選んで召し上がられる)

年間行事・ケアハウスの特色（反省・コメント）

本年度も、コロナウィルスの感染状況に伴い、各行事・レクリエーション等の中止と縮小をしながら、取り組みました。

茶のみ会

感染予防の為、半分の人数で2度に分けて行いました。
入居者のほとんどの方が参加して下さるので、伝達事項や健康情報を分かりやすく伝え、楽しい時間を提供できるよう、これからも創意工夫を重ねていきたいと思ひます。

父の日・母の日

特別御膳を用意して、感謝の心を届け、楽しんで頂きました。

喫茶店

てんぽせんべいを手作りで焼いて、持ち帰りにしたり、皆さんが好きな甘酒をつくって、飲んでもらったりしました。利用者様は、楽しそうに参加され、笑顔も見られました。
また以前の様におやつを作ったり、一緒におしゃべりをしながら食べたり、楽しい時間を過ごせるようにしたいと思ひます。

長寿祝い

祝い品を贈呈しました。昼食の際、長寿の方を紹介しました。

体操・脳トレ・製作レク・音楽レク・回想レク

感染状況によって、脳トレプリント・ぬりえを実施。
チャレンジの時間（脳トレプリント・ぬり絵等）では、準備から片付けを率先して手伝って下さっています。みんなで楽しめる空間を入居者同士で作ることができています。これからも、仲間作りと笑い、そして能力保持を日指し、一人ひとりを大事に支援していきたいと思ひます。

ドライブ・福祉パレード

中止

感染予防をして、一人でも多くの方に楽しんで頂けるよう、企画していきたいと思ひます。

夏祭り・忘年会

余興等は中止

健康管理・健康維持について

天候や季節による温度の変化、また時期による感染症などの症状、注意事項などの情報提供を行い、一人一人がセルフケアに取り組めるように援助しています。利用者の生活によりそいながら、利用者の観察を行い、異常の早期発見に努めています。異常時にはかかりつけへの受診をすすめるなど対応しています。

安全指導計画について

冬季外出時の転倒予防では、除雪・融雪剤等の環境整備と注意の促しをすると共に、感染症予防対策や、不審者への対応などの警戒強化も含め考えていきたいと思ひます。

給食（食事）に関して

コロナ禍で、イベント食などがなかなか出来ない為、普段の食事の中で特別感が得られるような内容の食事をと考え毎月1回は、「井の日」を設けました。

これからも、皆様に楽しみな食事、十分な栄養の摂取、食べる意欲増進を目標とした工夫をしていきたいと思ひます。

職員研修について

感染症対策、社会人としての常識、健康維持、接遇など、スタッフ全員が研修をすることで、入居者さんの過ごしやすい環境を作っていけるよう学び、反省を繰り返し、より良い施設にしていきたいと思ひます。

避難訓練について

通常年2回の総合避難訓練を軸に、様々な場面を想定し訓練を行い、各指導官の意見を取り入れ安全に避難できるようにしていきます。

令和4年度

職員内部研修

4年	4月	介護スタッフのための接遇研修
	5月	事故の発生等緊急時の対応
	6月	ノロウイルス(感染症)
	7月	食中毒
	8月	脱水症・熱中症
	9月	頭外傷
	10月	活気のある職場をつくるための3つの柱
	11月	インフル予防
	12月	認知症
5年	1月	感染予防対策について
	2月	身体拘束
	3月	転倒・転落について

1. 年齢別

	～65歳	66～70歳	71～75歳	76～80歳	81～85歳	86～90歳	91歳～	計
男	0	2	1	3	1	3	2	12
女	0	1	4	2	8	20	3	38
計	0	3	5	5	9	23	5	50

平均 84歳

2. 介護度別

	要支援2	要支援1	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	1	4	4	2	0	0	11
女	5	1	6	6	4	0	0	22
計	5	2	10	10	6	0	0	33

	要支援 2～1	要介護 1～5	総合事業	健常 (未登録)	計
男	1	10	0	3	14
女	6	16	4	10	36
計	7	26	4	13	50

※身障	男 2
	女 6

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 白銀会
八戸グリーンハイツ生活支援ハウス

1、入所状況

毎月1日現在(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍数	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	47

2、入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
退所	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3

3、入所理由

退院後の静養	0
次の居住地が決まるまで	2
家族が入院	0
家族・同居人からの虐待	0
その他	0

4、退所理由

自宅に戻る	0
居住先(アパート等)が決まったため	0
居住先(施設入所)が決まったため	3
入院	0

5、入所日数

令和5年3月31日現在(今年度退所者含む)

入所日数(日間)	人数
1~60	0人
61~90	1人
91~120	0人
121~150	1人
151~180	1人
180~	3人

平均入所日数

224日

6、令和4年度の反省

安全管理

毎月担当者が、消防器具や危険物の点検を行っている。また、デイサービスと連動する火災報知機の職員への連絡機能の確認を行っている。

避難訓練は隣接するデイサービスと合同で行っている。(5月、11月実施)

健康管理

新型コロナウイルス感染予防に向けて、検温、体調確認、訪問介護など外部からの訪問時はマスク着用のうえ、検温、手指消毒、県外への移動歴が無いかなどの確認を行って頂き、ヘルパー等必要以外は玄関内で面会するなど対策を今後も徹底する必要がある。

衛生管理

インフルエンザやノロウイルスなどへの感染者は無かったが、2名の新型コロナウイルスへの感染が確認された。いずれも発熱症状あるも、他症状は見られず、8日後に陰性を確認。各居室の換気、施設内の消毒、入居者の検温、など感染予防に努めていたが、デイ利用者との接触など、対策に不十分な場面があった。

食事管理

食事量の観察をし、体調不良の早期発見に努めた。また、透析の為食事制限のある方に対しては別定食を用意するなど、個別の状態に合わせて対応を行った。感染対策として、テーブル席の亚克力板や手指消毒をしてからの食事を提供していた。

生活支援

感染症の流行時には、外出から戻った際には手洗いうがい、手先消毒の徹底を呼びかけるなど対応を行う事で、声掛けがなくても入所者自身で手洗いうがいを行う等、意識付けが出来ていた。

7、令和5年度に向けて

3年度の合計利用延べ人数の50人に比べ、令和4年度は47人と減少となっている。今年度の入所者の理由は、退院後の次の住居を決めるまでの間の入所や、賃貸からの立ち退きの理由での利用など、虐待に関する事案は0件となっている。

長期入所の方を含め、今年度は3名の施設入所が決まった。

現在の入所者も、施設への申し込みを行っており、1名が近日入所の見込みがあるも残り2名は入所の見込みは無い。

令和5年度は、継続し感染症対策の徹底を図り、入所者が安心して生活ができるよう支援していく。

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 白銀会
八戸グリーンハイツデイサービスセンター

令和3年度を振り返って

令和4年度利用者受け入れ人員実績より(R04年4月1日～R05年3月31日)

4年度の登録者数は、利用者の移動等があったものの、前年度82名に対し、73名と前年度と比べ減少であった。

年間延べ利用人員8446名(前年比118名員減)、月間平均利用人員703名、1日平均利用人員は23.1名であった。

利用者の方については、介護度の変更あるも総合的には昨年度から減少する結果となった。又、職員や利用者様の感染が発覚し、5日間の自主休業を行うなどご利用者様、ご家族様に御迷惑をお掛けする事態となった。

令和5年度は、引き続き感染症対策を実施し、利用者様や職員の健康管理を徹底し、安心して生活ができる様対応していく。

地区別利用状況 (利用登録者) 73名

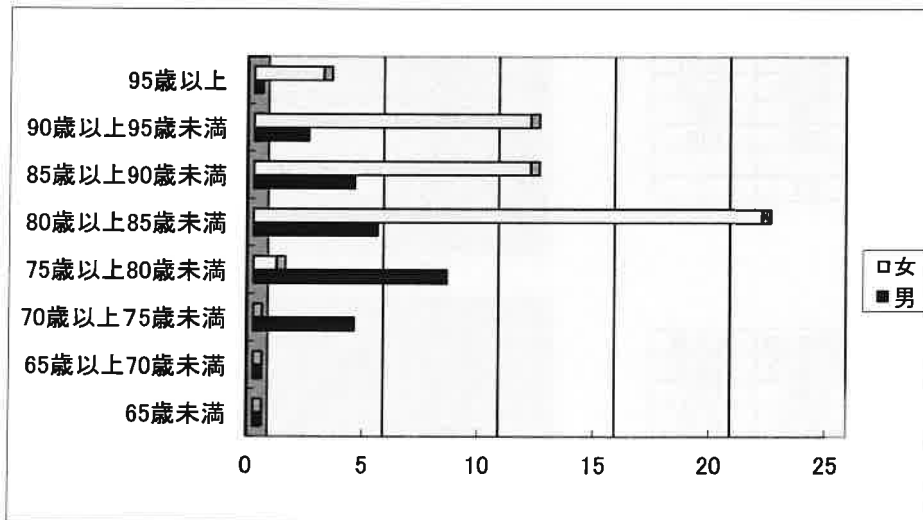
	男	女	計	%
湊地区	2	9	12	16
鮫地区	0	3	3	4
白銀地区	20	35	55	75
新井田地区	0	2	2	3
類家地区	0	1	1	1
小中野地区	1	0	1	1
	23	50	73	100

年齢状況 (利用登録者) 73名

	男	女	計	%
65歳未満	0	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0	0
70歳以上75歳未満	4	0	4	5
75歳以上80歳未満	8	1	9	12
80歳以上85歳未満	5	22	27	37
85歳以上90歳未満	4	12	16	22
90歳以上95歳未満	2	12	14	19
95歳以上	0	3	3	5
合計	23	50	73	100

小数点以下四捨五入

最高年齢 男 92歳 最若年齢 男 71歳
 女 104歳 女 78歳

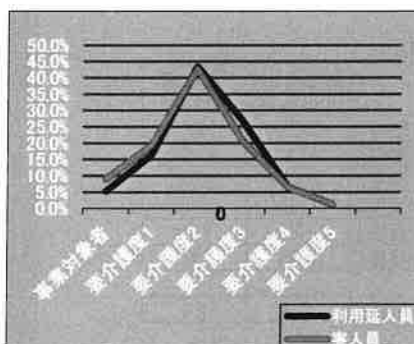


介護度別利用頻度 1ヶ月の利用回数

	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均
R04.4月	6.23回	8.64回	9.41回	11.64回	9.33回	0回	9.05回
R05.3月	6.5回	9.1回	11.75回	10.29回	11.83回	18.5回	11.32回

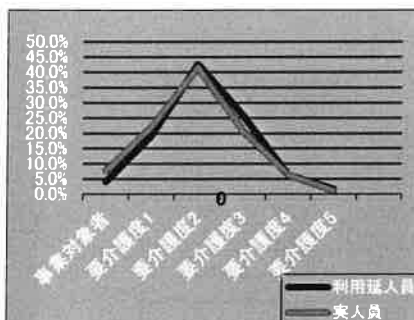
8月

	利用延人員	実人員
	691名中	77名中
事業対象者	5.3%	9.0%
要介護度1	16.4%	19.4%
要介護度2	43.5%	42.8%
要介護度3	26.9%	20.7%
要介護度4	6.7%	6.5%
要介護度5	1.2%	1.3%
平均介護度	2.2	2



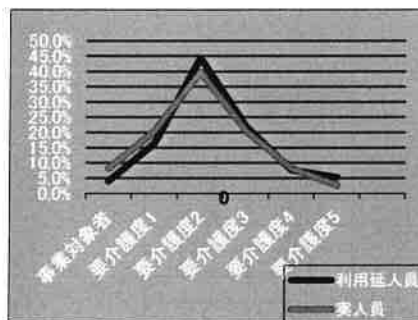
9月

	利用延人員	実人員
	735名中	77名中
事業対象者	4.2%	7.8%
要介護度1	19.3%	22.2%
要介護度2	42.7%	41.6%
要介護度3	25.8%	20.8%
要介護度4	6.3%	6.4%
要介護度5	1.7%	1.2%
平均介護度	2.2	2



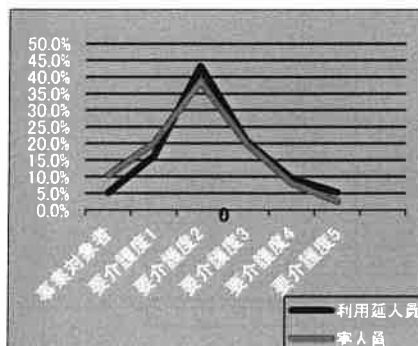
10月

	利用延人員	実人員
	695名中	73名中
事業対象者	4.1%	8.2%
要介護度1	16.5%	20.5%
要介護度2	44.5%	39.8%
要介護度3	21.9%	20.6%
要介護度4	7.7%	8.2%
要介護度5	5.3%	2.7%
平均介護度	2.3	2.1



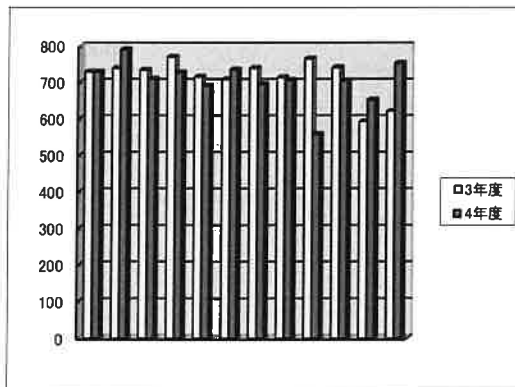
11月

	利用延人員	実人員
	706名中	75名中
事業対象者	5.2%	10.6%
要介護度1	16.2%	20.1%
要介護度2	43.2%	38.6%
要介護度3	20.7%	20.1%
要介護度4	9.4%	8.0%
要介護度5	5.3%	2.6%
平均介護度	2.3	2.1



月別利用延人員

	3年度	4年度	前年比
4月	729	729	100.0%
5月	739	790	106.9%
6月	734	710	96.7%
7月	770	727	94.4%
8月	715	691	96.6%
9月	708	735	103.8%
10月	739	695	94.0%
11月	713	706	99.0%
12月	765	558	72.9%
1月	741	705	95.1%
2月	593	652	109.9%
3月	621	753	121.3%
合計	8564	8446	98.6%

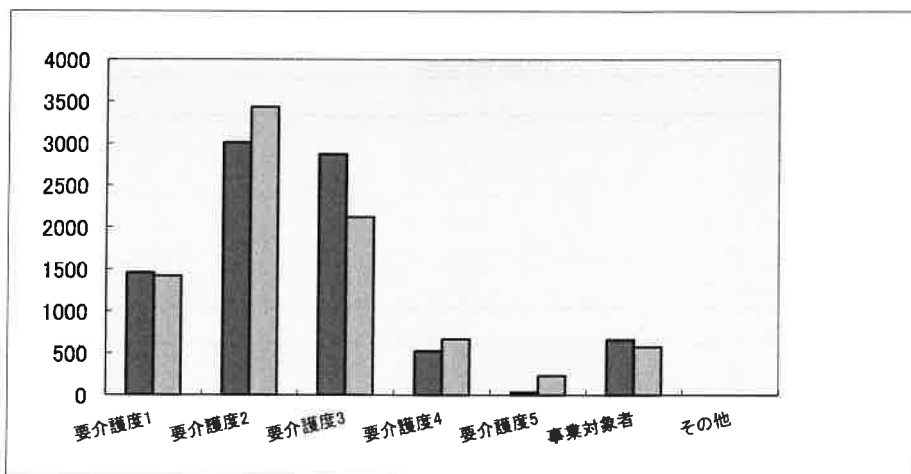


月別平均介護度

	3年度月別延人員 平均介護度	4年度月別延人員 平均介護度	前年比	3年度月別延人員 平均介護度	4年度月別延人員 平均介護度	前年比
4月	2.20	2.10	-0.10	2.10	2.00	-0.10
5月	2.30	2.10	-0.20	2.20	2.20	0.00
6月	2.20	2.10	-0.10	2.20	2.00	-0.20
7月	2.20	2.20	0.00	2.20	2.10	-0.10
8月	2.20	2.20	0.00	2.10	2.00	-0.10
9月	2.10	2.20	0.10	2.10	2.00	-0.10
10月	2.10	2.30	0.20	1.90	2.10	0.20
11月	2.20	2.30	0.10	2.00	2.10	0.10
12月	2.10	2.30	0.20	2.00	2.10	0.10
1月	2.10	2.30	0.20	2.00	2.10	0.10
2月	2.20	2.20	0.00	2.00	1.90	-0.10
3月	2.10	2.30	0.20	2.00	2.00	0.00
平均	2.16	2.16	0.00	2.16	2.05	-0.11

介護度別利用延人員

	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	事業対象者	その他	合計
3年度	1460	3008	2872	527	35	682	0	8564
4年度	1420	3431	2121	666	234	574	0	8446
	-40	423	-751	139	199	-88	0	-118
前年比	97.3%	114.1%	73.9%	126.4%	668.6%	86.7%	0.0%	98.6%



令和4年度 研修報告(外部研修)

6月28日	オンライン体操レクMCS勉強会	全職員
7月8日	チームビルディングベーシックコース	玉館 正子
8月31日	令和4年度 安全運転管理者講習	佐々木 達郎
9月26日	ノーリフティングケア	山内 大輔
10月19日		山内 美都里
10月22日	令和4年度介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会	大山 泰司
11月10日	令和4年度 整備管理者講習	佐々木 達郎
2月28日	生産性向上の取り組みに関する介護事業所向けセミナー	褰野 郁子
3月10日	高齢者虐待防止法の取り組みについて	全職員
3月13日		

全8講座

延べ38名参加

※ 外部研修はレポートや内部研修にて、全スタッフに伝達を行っている。

1. 年間目標

「自立に向けた支援をしましょう」を年間目標として、昨年度より内容を若干変更して実施してきた。実施期間中は、年度末に自己評価及び他者評価にて振り返りを行っている。自己評価では全体的に各自の評価は高かったが、他者評価との差が大きく見えていた。職員自身ではこの差に気づく事は難しい為、客観的評価を踏まえ、各自が他者評価を真摯に受け止めて、この差を少しずつ無くしていくよう努力すると共に働きかけていく必要がある。

2. 安全管理、

防火設備点検を毎月行い、不備が見られた際には速やかに改善している。7月、11月には法人内で避難訓練を実施。又、通報訓練の効果もあり、利用者様の救急搬送時にも迅速に対応できたと思われる。今後も緊張感を持って取り組むと共に、いつ何が起こるか分からない為、とっさに行動できるよう意識が必要と感じた。

3. 健康管理

今年度、利用者様及び職員の新型コロナウイルスの感染が発覚し、5日間自主休業となる。検討会を行った結果、忘年会行事にて、ホール内で全員が食事を取る形を取っていたが、他者との距離を取れず、そこから感染拡大につながった可能性が高い。今後も行事等を行う場合は、十分な換気や通路の確保、体調不良者が増えていた場合は中止も検討する等、安全面に考慮しながら、利用者様に楽しんで頂ける様工夫していく。

4. 衛生管理

1週間に2回の寝具の洗濯や塩素消毒でのこまめな清掃活動等の対策を行ってきた。又、ゴミ箱の消毒や既存のマニュアルの見直し等、改善する点が無いか今後も確認をしていく。

5. 食事

感染症対策として、引き続き対面での食事となる際は飛沫防止シートを設置しを行い、利用者様の座席の記録を残している。又、食事中はマスクを外す為、介助者はフェイスシールドを着用し、飛沫に注意しながら行っている。継続し食後は声掛け促しを行い、口腔内の清潔保持に努めていく。

10. 職場体験・実習受け入れ

感染予防の為、実習生側の学校より中止の依頼あり、今年度の受け入れは無しとなる。

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 白 銀 会
グループホーム 八戸グリーンハイツ

利用者状況

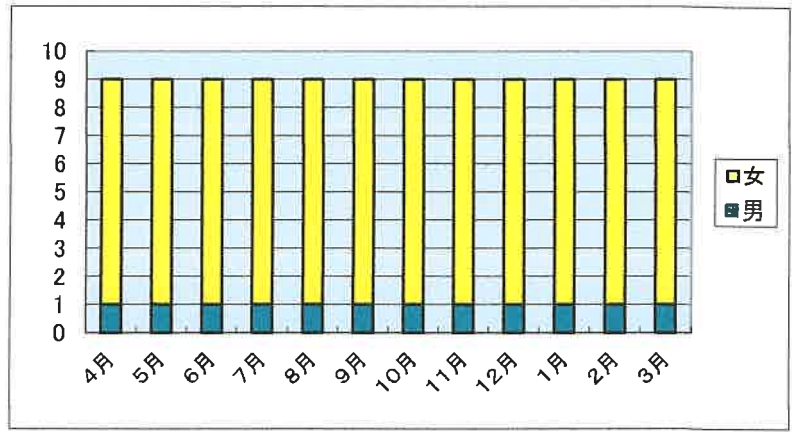
<R4.4.1~R5.3.31>

延べ人数11名

1.月別

<R5.3.31現在 男1名、女8名>

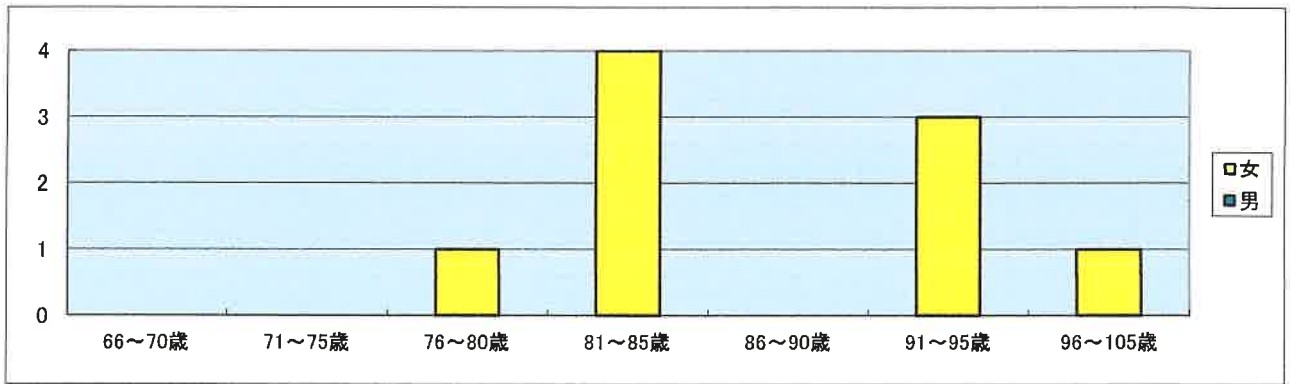
	男	女
4月	1	8
5月	1	8
6月	1	8
7月	1	8
8月	1	8
9月	1	8
10月	1	8
11月	1	8
12月	1	8
1月	1	8
2月	1	8
3月	1	8



2.年齢別

<R5.3.31現在 最高年齢 女103歳 最若年齢 女79歳、平均年齢 88.44歳>

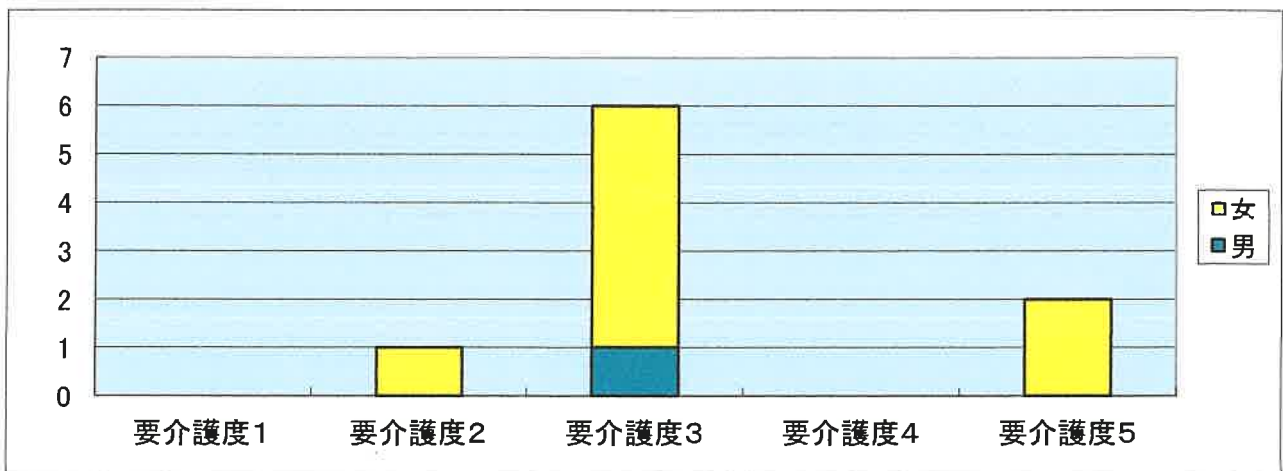
	66~70歳	71~75歳	76~80歳	81~85歳	86~90歳	91~95歳	96~105歳
男	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	1	4	0	3	1



3.介護度別

<R5.3.31現在>

	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
男	0	0	1	0	0
女	0	1	5	0	2



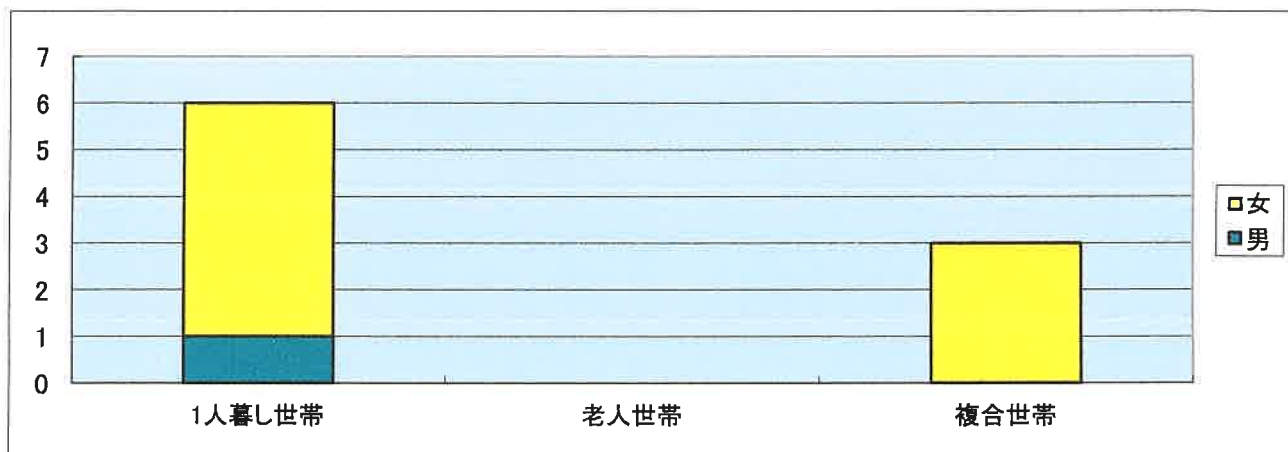
4.月別平均介護度

	平均介護度
4月	2.66
5月	2.66
6月	2.66
7月	2.66
8月	2.88
9月	3.11
10月	3.11
11月	3.11
12月	3
1月	3.22
2月	3.22
3月	3.33



5.入居前世帯状況

	1人暮らし世帯	老人世帯	複合世帯
男	1	0	0
女	5	0	3



6.退去者状況

退居月日	性別	年齢	入居期間	退居理由
令和4年11月28日	女	89歳	1年2カ月	家族の住む関東の施設へ転居のため
令和5年2月22日	女	83歳	2か月	入院 回復の見込みがないため

行事/活動報告

令和4年	4月4日	おやつ作り ハンドケア
	4月6日	H・M氏誕生会
	4月12日	フットケア
	4月13日	おやつ作り
	4月19日	お花見ドライブ
	4月20日	〃
	4月26日	おやつ作り クリーンパートナー
	4月27日	フットケア
	4月29日	クリーンパートナー 思い出の会
	5月5日	ガーデンランチ
	5月7日	母の日感謝の会
	5月8日	母の日入浴
	5月10日	タッチケア
	5月17日	フットケア
	5月20日	ドライブ
	5月21日	苗植え
	5月23日	クリーンパートナー
	5月24日	ドライブ
	5月25日	フットケア
	5月27日	フットケア
	5月31日	フットケア
	6月3日	菖蒲湯
	6月7日	フットケア
	6月8日	絵画鑑賞
	6月10日	ハーモニーの会
	6月14日	フットケア
	6月17日	作品作り
	6月18日	父の日語り合い
	6月19日	父の日感謝の会
	6月21日	フットケア
	7月5日	ハンドケア 七夕飾りつけ
	7月6日	T・J氏誕生会
	7月7日	七夕の会
	7月12日	フットケア
	7月17日	おやつ作り
	7月18日	ハンドケア
	7月19日	思い出の会 三社大祭TV鑑賞 語り合い
	8月6日	思い出の会
	8月9日	フットケア
	8月10日	絵画鑑賞
	8月11日	スイカ割り
	8月13日	迎え火 花火
	8月14日	縁日
	8月16日	ハンドケア 思い出の会 送り火
	8月23日	フットケア
	8月30日	書道
	9月6日	フットケア
	9月16日	フットケア
	9月17日	W・K氏誕生会
	9月19日	敬老会 ハンドケア
	9月30日	フットケア
10月9日	E・H氏誕生会	
10月10日	運動会	
10月12日	俳句作り	
10月14日	フットケア	

	10月20日	そば餅づくり
	10月22日	ドライブ
	10月24日	紅葉ドライブ
	10月25日	映画鑑賞
	10月28日	フットケア
	11月4日	フットケア
	11月7日	漬物づくり
	11月11日	フットケア
	11月15日	ドライブ
	11月18日	フットケア
	11月21日	K・S氏誕生会
	11月22日	ドライブ
	11月25日	干し柿づくり
	11月26日	T・N氏送別会
		おやつ作り
	12月2日	フットケア
	12月9日	フットケア
	12月16日	年賀状作り
	12月24日	クリスマスケーキ作り
令和5年	1月1日	H・N氏誕生会
	1月2日	書初め
	1月5日	映画鑑賞
	1月6日	フットケア
	1月10日	蒟蒻づくり
		おやつ作り
	1月12日	ハンドケア
	1月19日	ハーモニーの会 歌回想
	1月24日	ハーモニーの会 歌カルタ
	1月26日	ハンドケア
	2月3日	節分 豆まき
		フットケア
	2月6日	思い出の会
	2月13日	思い出の会
	2月17日	フットケア
		えんぶり鑑賞
	2月20日	思い出の会
	2月21日	映画鑑賞
	2月24日	おやつ作り
	3月3日	桃の節句祝い
	3月6日	思い出の会
	3月14日	思い出の会
	3月17日	K・S氏誕生会
	3月20日	思い出の会
	3月20日	フットケア
	3月28日	A・T氏誕生会

新型コロナウイルス感染症について正しく知り、対策を講じながら、活動を過度に制限することなく取り組みたいと考えていたが、実際、地域や関係各所において感染の報告を耳にすると、グループホームへの感染を避けたい一心で外出や地域での活動を以前のように取り戻すことができなかった。一方ホームの中では、換気を徹底しながら、コロナ禍で控えていた歌の活動や語り合いの活動に取り組むことができた。毎日の暮らしの中で、小さな楽しみや心地よさ・喜びを感じられるよう、タッチケアや郷土の習わしや季節の行事を取り入れた。過去の暮らしを思い出したり、それぞれの力を発揮しながら過ごせるようチームでの検討を重ねた。その際、感染対策を講じた上でその方法を工夫して実施した。活動の内容によって、距離を考へたり換気の頻度を増やしたり、空気清浄機の使用を工夫したり、フェイスシールドを着用するなど対策を徹底した。

今年度はご家族やホーム以外の方々との交流がほとんど作ることができなかったため、感染状況を見極めながら、引き続き健康観察と感染対策を徹底し、交流機会を積極的に作っていきたいと考えている。

職員研修報告

令和4年	4月5日	法人理念 倫理 行動規範 接遇 身体拘束等適正化 虐待防止	内部
	4月20日	Reconnect事例検討会「コロナ対策への変化と第7波への準備」	今野
	4月21日	新型コロナ感染症対策	内部
	5月2日	認知症重度化予防	内部
	5月16日	口腔内の健康	内部
	5月18日	Reconnect事例検討会「新型コロナ感染症対策」	今野
	5月28日	感染対策「個人防護具の着脱」	内部
	6月3日	熱中症予防	内部
	6月15日	家族支援	内部
	6月15日	Reconnect事例検討会「罹患後症状」	今野
	6月16日	バーンアウト対策	内部
	6月20日	コミュニケーション「回復と沈黙」	内部
	6月22日	吐物処理①	内部
	6月26日	多職種連携コミュニケーション研修	今野
	7月6日	コミュニケーション ホットメッセージ	内部
	7月7日	身体拘束「離床センサーについて」	内部
	7月15日	吐物処理②	内部
	7月21日	宮城県GH協「介護崩壊を防ぎ、生活を取り戻すために我々がすべきこと」	今野
	8月11日	Reconnect事例検討会「介護関連施設・事業所でのコロナ対策 緊急研修会」	今野
	8月18日	新型コロナ感染症対策	内部
	8月25日	予防的フットケア	内部
	8月27日	看取り研修会	今野
	8月29日	施設ケアマネ研修会	今野
	9月1日	看取りケアについて考える	内部
	9月5日	認知症機能評価スケール	内部
	9月14日	包括的支援事業研修会	今野
	9月21日	Reconnect事例検討会「インフルエンザとcovid19の同時流行に備えて①」	今野
	9月28日	看取り研修会	今野
	10月10日	認知症ケア「収集」	内部
	10月19日	Reconnect事例検討会「インフルエンザとcovid19の同時流行に備えて②」	内部
	10月23日	八戸市認知症フォーラム	今野
	10月26日	看取り研修会	今野
	11月6日	今を生きる者の役割	今野
	11月16日	Reconnect事例検討会「発熱風邪症状時の対応アップデート」	今野
11月17日	発熱・風邪症状が出現したら	内部	
11月18日	八戸市医師会 地域ケア会議	今野	
11月26日	在宅医療 介護連携 想いを紡いで	今野	
11月30日	八戸地区認知症疾患WEBセミナー	今野	
12月5日	コロナ発生時の初動	内部	
12月9日	BCP	今野	
12月15日	八戸地区認知症高齢者GH協議会研修会	今野	

	12月21日	ACP疑似体験	今野
令和5年	1月18日	Reconnect事例検討会「2023のwithコロナ社会の展望と対策」	今野
	1月19日	新型コロナ感染症対策	内部
	2月5日	事故防止 危険予知	内部
	2月15日	Reconnect事例検討会「コロナ5類移行に向けての対策①」	今野
	2月16日	新型コロナ感染症対策	内部
	2月16日	「人間が生きるために必要な亜鉛」	今野
	2月22日	介護サービス事業所における感染予防について	今野
	3月14日	八戸地区認知症高齢者GH協議会研修会「認知症治療の最前線と地域の取り組み」	今野
	3月15日	Reconnect事例検討会「コロナ5類移行に向けての対策②」	今野
	3月17日	八戸市高齢者虐待防止研修会	全員

◎管理者がオンライン研修を受講後、チームで伝達研修を行い内容を共有した。新型コロナウイルス感染症に関連したものに加え、「コミュニケーション」「意思決定支援」「BCP」「認知症」「看取り」などGHケアにおいて重要なテーマを選択し学びの機会をつくった。ホーム内でも継続して研修の機会をつくることで意見交換の場が増え、チームで意思統一を図ることができたと考える。さらに、チームが主体的に学べる環境を整えていく必要がある。

運営推進会議報告

	日付	内容	参加人数
令和4年	5月18日 書面	重度化予防の取り組み	15名
		活動報告	
	7月20日 書面	店頭事故報告 離床センサーの活用について	14名
		活動報告	
	9月21日 書面	足の健康を支援する 予防的フットケアについて	14名
		活動報告	
	11月16日 書面	認知症のリハビリ地域密着型サービス自己評価・外部評価結果	18名
		活動報告	
令和5年	1月18日 書面	暮らしの中のリハビリ	17名
		活動報告	
	3月15日 書面	認知症と栄養	17名
		活動報告	

◎今年度は、参集して会議を行うことができなかった。書面での報告は小さなエピソードやニュースが伝わりにくく、十分な報告内容とは言えない。また、意見交換も不十分である。それでも資料に目を通し、意見を寄せて下さったご家族や地域の皆様に感謝したい。第6回では、コロナ禍での運営推進会議の開催についてアンケート調査を行った。「地域の新型コロナウイルス感染者数を見ながら決定してほしい」「やはり参集して意見交換をしたい」など委員の方々の考えを知ることができた。次年度の会議に反映していくものとする。

その他実施報告

避難訓練実施日	令和4年6月16日 令和4年7月23日 令和4年10月17日 令和4年12月22日 令和5年2月12日
車両乗車訓練 // 入浴中避難介助訓練 停電・断水訓練 支援ハウスへ避難訓練 地震・津波避難訓練	令和4年4月17日 令和4年4月19日 令和4年6月16日 令和4年9月10日 令和4年11月12日 令和4年11月17日 令和5年3月11日
広報誌発行	令和4年6月30日 令和4年9月25日 令和4年12月28日 令和5年3月25日

避難訓練等について

◎毎月の自主的な避難訓練や災害対策に関する話し合いを積極的に実施している。様々な想定の下、訓練がされていることで、その場に応じた適切な声掛けや避難介助の方法が具体的に検討・検証されている。利用者の心身の状況に合わせた手順を都度更新・周知しながら、安全対策に取り組んでいきたい。コロナ禍で実施できていなかった他部門との連携や地域との検討の場を再開し、さらに安全な体制を見直し整えていく。

広報紙について

◎ホームの暮らしの様子や私たちの取り組みを伝える場として、広報紙の内容は都度スタッフの検討を重ねている。発行回数を増やすことはスタッフの負担が大きくなるため、内容の充実を図ることで、ご家族や地域への発信をしていきたい。毎月の報告に加え、季節ごとの広報紙発行は利用者の方の日常についてさらに詳しく理解していただくことのための大切なツールと言える。大きな行事の掲載にとどまらず、広い視点で日常の暮らしと考えを示し、読んだ方々の考えを深めるきっかけもつくっていきたい。

令和4年度を振り返って

◎今年度もやはり新型コロナウイルス感染症対策を最優先した支援となった。最新情報を共有し意識を緩めることなく、利用者の方の命と暮らしを守るために、自分たちにできることに精一杯取り組んだが、ご家族との面会以外の交流の機会や地域活動の場がなかったことは不本意である。

次年度、5類に移行するが、健康観察と感染対策に引き続き取り組んでいながら、「グループホームの暮らしとは？」改めてチームで再確認し、利用者ひとりひとりの思いを十分に引き出しながら、コロナ前の人とのつながりや社会の一員としての様々な活動を取り戻していきたいと考える。

グループホームの暮らしに安心と安全・心地よさを作り出すために、感染対策や事故予防など多くの視点を持ち取り組むことが求められる。チームで風通しの良い意見交換を繰り返し、「当たり前の暮らし」「一人ひとりの望む暮らし」の実現を目指していきたい。

4月

お花見ドライブへ



花壇づくりをはじめましょう



5月

お弁当箱に詰めてみんな揃ってランチタイム



昔取った杵柄 102歳の針仕事



6月

毎日の日課は玄関の窓ふき



社会の一員として 清き1票を



7月

感染対策をしながら大切な家族とのひととき



蚊帳を見ながら 夏の思い出語り



8月

採りたて野菜を食卓へ



童心にかえて『縁日』を楽しむ



9月

愛情いっぱいのフットケア



長寿を祝う家族からの手紙



10月

手作りおやつはみんなで相談



大盛り上がりの運動会



11月

お母さんの色はどんな色？



今日一日を振り返り思いを綴る



12月

年末の大掃除



新しい年もみんな仲良く



1月

笑う門には福来る



小正月には繭玉づくり



2月

3年ぶりのえんぶり鑑賞に感動



家事活動で機能訓練



3月

寒大根の作り方食べ方を教えてください！



手作りのひな人形



令和4年度 事業報告書

グループホーム ひかる



目 次

- 1 運営方針・・・ p 1
- 2 運営理念・・・ p 1
- 3 年間事業目標・・・・・・・・ p 1
- 4 事業計画内容・・・・・・・・ p 2～ p 5
 - ① 生活環境整備
 - ② リスクマネジメント
 - ③ 栄養・食事管理
 - ④ 衛生管理
 - ⑤ 生活支援
 - ⑥ 会議・研修・勉強会等
 - ⑦ 地域・家族との交流
- 5 職員状況・・・・・・・・ p 5～ p 6
- 6 利用者状況・・・・・・・・ p 6～ p 7

1 運営方針

地域の活動への参加はできなかったが、散歩を再開したことで、地域の方に声をかけていただく機会もあった。「施設のみなさんどうしてる？」と気にかけてくださっていた方もおり、地域の中のグループホームとして認知していただいていることが嬉しく思われた。自立支援というところでは、うまくできなくても自分でやりたいという気持ちを尊重して、すべて介助してしまわないよう、できることを見極め、支援していった。

2 運営理念

外部評価もあり、改めて理念を見直し、職員間で共有した。

3 年間事業目標

事業目標の大きなものとして「心の健康」「環境づくり」「地域との関わり」の3つをあげて取り組んだ。

「心の健康」・・・面会が出来ず、寂しい思いや不安な思いが積み重ならないように、家族のような温かい雰囲気を利用者様に接することを心掛けた、また、ご家族様も希望があれば可能な限り感染対策をしたうえで面会を行い、安心してもらえる対応を行った。

「環境づくり」・・・散歩を再開した。少しでも外に出ることで気分も変わり、ホーム内だけで過ごす窮屈な印象が軽減されるようなので、ドライブや買い物も含めて外出支援を再開していきたい。

「地域との関わり」・最後の推進会議で皆さん集まって行うことができた。地域の方も参加いただき、コロナ過以前のような状態に戻りつつある日常を実感した。今後もグループホームならではの特性を活かし、地域貢献して行きたい。

4 事業計画内容

① 環境整備

夜眠ると、朝まで寝返りを打たない方が増えてきた。褥瘡予防・疼痛予防・拘縮予防のため夜間の体位変換が必要な方がほとんどになってきた。室温等は寒がりの方も多く、高めで設定していても、「寒い寒い」という方もおり衣服等で調整してもらった。テレビに関してはいいニュースもあまりないため、つけっぱなしにせず、音楽を流す方が多かった。

② リスクマネジメント

避難訓練は職員だけで行い、地域の方や消防の方に参加していただくことはなかった。毎月には行えず、2カ月に1回程度の頻度で、地震と火災の訓練を行っている。入退居が続いたが非常用名簿はいつも最新の状態にしておくことができた。ヒヤリハットも継続して検討を行って、大きな事故を防ぐ努力をした。

③ 栄養・食事管理

食事の様子は常にアセスメントし「何を残しているか?」「何でむせたか?」「口に溜め込んでいないか?」等観察し、食事形態を変更し、安全にかつ満足できる食事の提供はできた。

④ 衛生管理

係を決め建物内外や、備品等の清潔・整頓を心掛けた。また、食品の取り扱いについても、勉強会を行うなどして指導し、できていないときはその場で注意するようにして、食品の取り扱いには十分注意をした。新型コロナやインフルエンザ等の感染症予防にも係が毎月検討を行い、予防に取り組んだ。新型コロナのクラスターが発生したが、その後の感染者を増やすことなく、最短で終息できた。

⑤ 生活支援

行事は「食を楽しむ」ということを主に意識し、行事食は利用者様と一緒に作って楽しみながら食べることができた。リハビリやレクリエーションの計画通りに行かない方も多かった。面会が出来ない分ご家族に写真のたくさん送って様子を伝えることができた。

—行事—

実施月日	内容
4月12日	誕生会
4月21日	お花見回想法 ～桜餅づくり～
5月8日	母の日会
7月18日	スイーツバイキング
7月21日	誕生会
8月5日	手作りスイーツ パフェ
8月12日	誕生会
9月19日	敬老会 お墓参り
10月9日	誕生会
10月24日	運動会
11月15日	誕生会
12月18日	クリスマスケーキ作り
12月28日	誕生会
12月31日	忘年会
1月1日	誕生会
2月3日	節分 恵方巻作り
2月20日	誕生会
3月12日	牡丹餅作り

⑥ 会議・研修・勉強会

利用者カンファレンスや、各係の実施報告は毎月行うことができた
が、会議も、コロナの感染者数に合わせて、文書のみにしたたり、短時
間で集まって行うなどして、感染予防しながら行った。研修会や勉強
会は、すべて計画通りに行うことができず、次年度に持ち越してい
る。研修計画は、管理者が計画を立てたうえで、職員からも希望を聞
き、受講したい研修や、取得したい資格などをアンケートにて把握
し、職員個人個人の質を高めていきたい。

—会議—

開催月日	内容
4月15日	利用者カンファレンス 各係からの報告
5月9日	利用者カンファレンス 各係からの報告
7月5日	利用者カンファレンス 業務改善 各係からの報告
8月5日	利用者カンファレンス 各係からの報告
9月5日	法人全体会議 利用者カンファレンス 各係からの報告
10月5日	業務改善（夜勤のタイムテーブルについて） 利用者カンファレンス 各係からの報告

—研修・勉強会—

開催月日	内容
5月9日	認知症について マナー
7月5日	夏の食中毒について 高齢者虐待について
9月5日	自己評価について
10月5日	認知症について
2月5日	高齢者虐待について
3月5日	新型コロナウイルスの今後の動向
3月13日	認知症の薬や治療について

—推進会議—

開催月	内容
R4年5月15日	認知症本人の視点で考える
R4年8月21日	コロナクラスター時の様子
R4年9月19日	自己評価
R4年11月21日	外部評価結果
R5年2月19日	音楽療法
R5年3月19日	事業報告 事業計画

⑦ 地域・家族との交流

推進会議の内容を回覧板で地域の皆様にも回覧してもらう計画だったが、文書だけでは伝えきれない部分もあり今回は取りやめている。広報誌も発行していないが、外出等も解禁になるため、来援度は年4回の発行を目指す

5 職員状況

氏名	勤続年数(おおよそ)	保有資格・修了研修
加賀麻吏子	22年	介護支援専門員 介護福祉士 認知症ケア専門士 認知症介護リーダー研修修了 認知症介護実務者研修修了
蛸名愛	11年	介護福祉士 認知症介護実践者研修修了
島元真穂	8年	認知症基礎研修終了
田村友香	5年	介護福祉士
相馬哲夫	5年	介護福祉士
大橋卓世	4年	無資格
吉田洋一	4年	介護初任者研修修了
濱道絵理香	4年	認知症基礎研修終了
外館亜矢子	1年	介護福祉士

勤務状況 9名（女性7名 男性2名）

職種及び勤務形態	人数 9名	常勤換算 7.7名
管理者兼計画作成担当者	1名	1名
介護職員常勤	5名	5名
介護職員パートタイム	3名	1.7名

6 利用者状況

利用者状況内訳（定員9名）

介護度	人数	年齢(性別)
要支援1	0人	
要介護1	1名	85歳(男)
要介護2	3名	81歳(女) 82歳(女) 93歳(女)
要介護3	2名	87歳(女) 85歳(女)
要介護4	3名	93歳(女) 87歳(男) 87歳(女)
要介護5	0名	

*職員状況・利用者状況については令和4年3月31日現在のものである





令和4年度 事業報告

八戸グリーンハイツ居宅介護支援事業所

1. 利用状況・新規利用者状況(サービス計画作成)
2. 特定事業所集中減算状況
3. 認定調査状況
4. 職員体制
5. 緊急時の対応
6. 特定事業所加算算定事業所として
7. 実習生受け入れ状況
8. 地域支援状況
9. 研修状況
10. まとめ

1. 利用者状況・新規利用者状況(サービス計画作成)

月	要介護 (前年度)	(新規届出) (前年度)	要支援 (前年度)	総合事業 (前年度)
R 4. 4	120 (116)	5 (2)	15 (13)	6 (8)
R 4. 5	121 (113)	2 (2)	15 (12)	6 (7)
R 4. 6	122 (117)	3 (4)	13 (9)	7 (5)
R 4. 7	124 (117)	5 (3)	12 (9)	7 (7)
R 4. 8	123 (115)	2 (2)	12 (9)	7 (7)
R 4. 9	120 (113)	0 (2)	13 (12)	7 (7)
R 4. 10	125 (110)	6 (4)	11 (13)	7 (7)
R 4. 11	126 (114)	6 (4)	14 (16)	8 (7)
R 4. 12	123 (112)	1 (4)	15 (15)	8 (7)
R 5. 1	123 (114)	3 (4)	17 (14)	8 (7)
R 5. 2	120 (120)	1 (8)	17 (14)	7 (7)
R 5. 3	121 (122)	3 (7)	16 (13)	8 (7)
計	1468 (1383)	37 (46)	170 (149)	86 (83)
前年度比	(+)85	(-)9	(+)24	

2. 特定事業所集中減算状況

- ・R 4. 4～R 4. 8 減算なし
- ・R 4. 9～R 5. 2 減算なし
- ・R 5. 3 減算なし

3. 介護認定調査状況

- ・R 4. 4～R 5. 3 86 件 (前年度より +31件)
(調査員…3人体勢)

※新型コロナウイルス感染状況に合わせ感染対策をとりながら調査を行った。

4. 職員体制(R5.3.31現在)

- ・管理者(主任介護支援専門員兼務)…1名
- ・介護支援専門員…4名 (内3名主任介護支援専門員、管理者含む)

5. 緊急時の対応(介護相談状況)

- ・24時間対応できるように電話転送している。
- ・都度状況に合わせて対応し必要時は介護申請、関連事業所との連携をしている。

6. 特定事業所加算算定事業所として

- ・定期的会議…年間 56回 開催
- ・地域介護支援事業所との会議(研修会開催に向け)…年間1回参加(R5.3.20 電話にて)
- ・地域包括支援センター等が実施する事例検討会等…年間 2回参加
(事例提出:1件 アドバイザー:1件)

7. 実習生受け入れ状況

- ・R4年度の介護支援専門員実務研修実習の実習者について
※受け入れ2名可能の回答するも、実習依頼なし

8. 地域支援状況(地域との交流)

・新型コロナウイルス感染状況の終息を期待したが、ウイルスの置き変わる感染状況もあり地域との交流は限られた交流となっている。社会福祉法人白銀会で行っているこども宅配おすそ分け事業には協力できている為、継続して参加ができてよう今後も地域とのかかわり、関係づくりに取り組んでいく。

9. 研修状況 (別紙参照)

今年度もオンライン研修が主となっている状況であるが介護支援専門員として専門性を高めるため新たな知識の習得、気づき、確認に努めた。地域の居宅介護支援事業所との学習会や各研修会でのグループワークでは地域ケアマネとのかかわりを持ち援助技術などの向上を図っている。主任介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員スキルアップ研修などへも参加し業務継続が図れるようにしている。

10. まとめ

今年度も新型コロナウイルス感染対策が必要であったことから利用者、家族の理解を得ながら支援を行った。各サービス事業所とは都度調整を行い利用者、家族の生活の安定を図っている。新規利用者については他事業所からの受け入れや以前のかかわりでの新規相談へとつながった利用者はあるが新規相談者が少ない状況は続いている。全体的な利用者状況としては介護予防支援を含め前年と比べ増えているが要介護者数はR2年度利用状況と同程度である為、意識していく必要がある。今後も利用者の自立支援、在宅生活継続に向けた支援をしていく。

ケアプラン作成では今年度も利用者自身の自己決定ができるような支援、在宅生活が継続できる支援を念頭におき作成に努めている。

認定調査については感染対策を継続し対応件数増としている。今後も状況に合わせて調査依頼に対応していきたい。

利用者、家族の心身の状況変化により必要なサービスも変わるため状況状態に合わせて介護サービス事業所、医療機関との連携をとり次年度も積極的に利用者の受け入れをしながら利用者がその人らしさを持って在宅生活が続けられる様に支援していきたい。

9. 研修会への参加(職員の資質向上を図る)

日時	研修	研修者数
R 4. 4月5日	介護職員の身だしなみ、感染予防対策研修(法人内研修)	4名
R 4. 5月20日	八戸地域介護支援専門員協議会研修	1名
R 4. 6月1日	青森県主任介護支援専門員更新研修(6/1～計46時間)	1名
R 4. 7月13日	青森県介護支援専門員協議会八戸支部研修会	3名
R 4. 8月24日	包括的支援事業研修	1名
R 4. 9月10日	青森県作業療法士会主催公開研修	1名
R 4. 9月14日	包括的支援事業研修	1名
R 4. 9月30日	地域Dグループ学習会	1名
R 4. 10月21日	個別避難計画の作成に係る説明会	1名
R 4. 11月18日	倫理・法令遵守について(事業所内研修)	4名
R 4. 12月12日	青森県主任介護支援専門員スキルアップ研修会	1名
R 4. 12月21日	八戸市医療と介護の多職種連携研修会	1名
R 5. 1月18日	包括的支援事業研修	1名
R 5. 1月24日	ケアプランデータ連携システム説明会	1名
R 5. 2月9日	八戸地域介護支援専門員協議会研修	1名
R 5. 2月22日	青森県理学療法士会主催研修会	1名
R 5. 2月24日	認定調査従事者現任者研修(動画視聴)	3名
R 5. 3月14日	八戸市高齢者虐待防止研修会(動画視聴)	4名
R 5. 3月14日	八戸市介護サービス事業者集団研修(書面開催)	4名
R 5. 3月15日	地域連携セミナー	1名
R 5. 3月16日	(株)総合研究所創発戦略セミナー	1名
R 5. 3月31日	八戸市認定調査員等研修会(書面開催)	3名
R 4. 12月14日	地域ケア個別会議事例提出(1件)	
R 4. 10月18日	地域ケア個別会議アドバイザー(1件)	

※新型コロナウイルス感染対策もありオンライン研修が主となっている。

※介護予防ケアマネジメント等研修会については複数回の受講を必要としないことから研修受講はない。